

## 県央・林業部トピックス（2月号）

### 令和5年度高校生の林業学習が終了しました

島根県では、年間80人以上の新規林業就業者の確保を目標に、R2年度より高校生向けの林業学習に力を入れて取り組んでおり、2月5日（月）に邇摩高校、7日（水）に矢上高校でシイタケ植菌の講座を実施しました。

各校とも、県内のきのこの生産概要や生態等を学習後、三瓶こもればの広場木工館の職員を実技の講師にお招きし、原木への植菌を実践しました。

参加した生徒からは、「きのこの分野について、もっと詳しく知りたい」「原木が想像以上に重くて驚いた」「林業に関わる仕事を就職先の一つに考えたい」等の意見がありました。

今年度、県央管内では、島根中央高校、矢上高校および、邇摩高校の3校で計14回の林業学習を実施しました。受講者は、山で木材を伐採する川上側(原木生産)の仕事から、自らの生活に木材が届くまでの川下側(木材流通加工・建築)の仕事まで幅広く学習しました。

これからも、林業に対して高校生の理解が深まるようアプローチを続け、就職先の選択肢の一つとなるように、「林業をやってみたい」と思うような経験が得られる講座・実習を開催できるよう工夫していきたいと思えます。



座学の様子（矢上高校）



2年前に卒業生が植菌したシイタケの子実体  
(邇摩高校)



実習の様子(左：矢上高校、右：邇摩高校)